

富士市立中央病院内科専門医研修プログラム (富士市立中央病院)

1 はじめに

内科医師の醍醐味は内科全般の標準的な診療が行える技量を備えると同時に、それぞれの subspecialty の専門医として自信を持って他の専門医と連携して診療に貢献できることです。ちょうど富士山の高い頂（いただき）と広いすそ野をイメージしていただければよいと思います。専門性の高さや広い見識をともに目指すには、その実現を目指した教育環境が必要だと思えます。当院は以下のような特徴を有する内科専門医研修にふさわしい病院だと思っています。我と思わぬ専攻医をお待ちしています。



特徴

- (1) 23 診療科が有機的に連携して地域のあらゆる医療ニーズに応えている総合病院です。
- (2) 東京慈恵会医科大学、浜松医科大学、山梨大学医学部、日本歯科大学からの指導医の派遣・交流があり、アップデートされた標準的な医療を提供しています。
- (3) 医療者の教育と育成を病院のたいせつなはたらきと位置付けており、出身大学や所属診療科の垣根が大変低い環境が用意されています。
- (4) そのような環境の中、内科全般の標準的な診療が行われ、同時に循環器、消化器、呼吸器、腎臓、糖尿病・内分泌、血液、神経、リウマチ・膠原病の専門的な医療を提供しています。
- (5) 看護部はもとより、薬剤科、中央放射線科、臨床検査科、臨床工学科、リハビリテーション科、栄養科、その他のコメディカルがたいへん協力的で、理想のチーム医療が行われています。
- (6) 行政（静岡県、富士市）ならびに周辺医療機関との関係が良好であり、すぐれた地域医療連携システムの中で医療が展開されています。
- (7) 現在内科領域だけで8名の後期研修医が勤務しており、豊富な経験を有する指導医のもと日々研鑽に励んでいます。

プログラム統括責任者 富士市立中央病院 副院長 笠井 健司

2 目的

- (1) 内科各専門領域の標準的な診療を経験し、実施できる。
- (2) 希望する subspecialty についての専門的知識、診療技術を習得する。
- (3) (1)～(2)のプロセスを通して内科専門医として広い視野と見識そして優れた問題解決能力を育む。

3 研修病院群

(1) 専門研修基幹施設

富士市立中央病院

(2) 専門研修連携施設

東京慈恵会医科大学附属病院

静岡県立総合病院

国際医療福祉大学熱海病院

三島総合病院

聖隷富士病院

共立蒲原総合病院

4 専攻医受入数

1 学年 3 名

5 研修期間

3 年間

6 研修計画（例）

専攻医研修	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科系診療科1		内科系診療科2		内科系診療科3		内科系診療科4		内科系診療科5		内科系診療科6	
	初診外来・救急外来・当直・他診療科との連携・合同カンファレンスで内科医としてのプライマリケアの素養を育む											
	富士市立中央病院での研修・JMECCを受講する											
2年目	subspeciality連動研修											
	初診外来・救急外来・当直・他診療科との連携・合同カンファレンスで内科医としてのプライマリケアの素養を育む											
	富士市立中央病院での研修											
3年目	subspeciality連動研修(選択する連携施設により、より専門性の高い研修、またはよりgeneralityの高い研修)											
	連携施設での研修											
そのほかプログラム要件	医療倫理・医療安全・感染防御に関する講習会およびCPCへの参加											

7 問い合わせ先

担当課 病院総務課人事担当

担当者 鈴木 裕子

T E L 0545-52-1131 内線 2214

F A X 0545-51-7077

E-mail ch-soumu@div.city.fuji.shizuoka.jp